

## 皆さまのご意見をお寄せください！

広域ごみ処理事業を進めるに当たり、皆さまから寄せられるご意見を今後の施設整備や運営に役立てていきたいと考えています。今回は、これまでに寄せられたご意見の中から、現在の施設（環境面）に関する疑問や質問についてご紹介します。

持続可能なごみ処理事業の継続に向け、引き続き1市3町で取り組んでまいりますので、ぜひ皆さまのご意見をお寄せください。寄せられたご意見については、広報しもだ誌面でご紹介させていただきます。



焼却場（煙突）から立ち上る煙（排気ガス）が気になります。

白く見えるものは、焼却の過程で噴霧した水が気化したもの（水蒸気）であり、気温と湿度の関係で冬季や雨天時に多く見られます。

排気ガスには、ごく微量の細かいす（ばいじん）や窒素酸化物、硫黄酸化物、ダイオキシン類などが含まれていますが、適切な燃焼管理と集じん装置によって、国が定める規制基準以下にして放出されています。

定期的な測定が義務付けられており、2か月に1度（ダイオキシン類については年1回）測定を行い、その結果を市のホームページに掲載しています。

これまでに基準を超過するようなことはなく、周辺環境への影響は非常に少ないものと考えています。



排気ガスに含まれる「灰」や「すす」などは周辺に落ちてきませんか？

集じん装置によって捕集しきれない、ごく微量の細かいす（規制基準以下のばいじん※）は、大気中で、拡散・希釈された後に降下していきます。

令和3年8月に焼却場（煙突下）と敷根公園（管理棟屋上）の2箇所以降下量に関する調査を行ったところ、「20トン」（単位：㎏/30日）が目安値とされる中、焼却場で「4.94トン」、敷根公園で「3.61トン」との結果が得られ、検査機関からは「十分に低いもの」との見解が示されています。

今回実施する生活環境影響調査においても、調査項目の一つとしており、周辺環境への影響を分析する予定です。

※定期的な測定では、計測できる下限値（0.01 g / m<sup>3</sup>N）に達していません。



焼却場周辺の河川や土壌には有害物質が含まれていませんか？

焼却場敷地内を流れる平田川（敷根川上流）の水質検査を毎月、敷根川の水質検査を年4回実施し、問題のないことを確認しています（ごみ処理に伴う排水は、場内で再利用し、河川へは放流していません）。土壌については、生活環境影響調査の中で行う予定です。



## ～清掃センターより～

### 雑がみリサイクル

本年1月に「雑がみ保管袋」を配布しました。「取り組んでみたところ、ごみの量が減った」との嬉しい声が寄せられています。リサイクル分別収集における回収量は、4月から7月までの4か月間で1.6トン（これまでは年間3トン程度）に達しており、皆さまのご協力によりリサイクルに回る量が増えています。



雑がみ保管袋

## 南伊豆地域広域ごみ処理事業について

問合せ先 環境対策課施設整備係 ☎6686

下田市、南伊豆町、松崎町及び西伊豆町の1市3町で協議を進めている「広域ごみ処理事業」の現状についてお伝えします。

### 生活環境影響調査を実施しています

生活環境影響調査は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づくもので、施設を整備するのに先立ち、施設が周辺地域の生活環境に及ぼす影響について予測評価し、施設整備の計画や維持管理に反映させることを目的としています。

施設周辺（西本郷、敷根、旧岡方村地内）で行う現地調査によって得られた結果に、既存資料の調査から得られた情報、計画施設による影響を加味することで将来の環境の状態を予測します。

予測した結果は、「環境に関する基準値や目標値と比較して適切かどうか」「実行可能な範囲で、できる限りの対策がとられているか」の2つの視点で評価されます。

### 【影響要因と調査項目】

#### 施設の稼働

- ・大気質（粉じん）
- ・騒音・振動
- ・悪臭（施設からの漏れ出し）

#### 煙突からの排気ガス

- ・大気質
- ・悪臭
- ・土壌汚染



#### 廃棄物運搬車両の走行

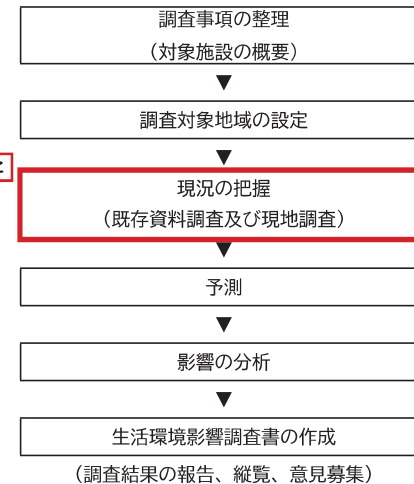
- ・大気質
- ・騒音・振動（交通量）



#### 施設排水（生活排水）

- ・水質

### 【生活環境影響調査の流れ】



7月28日に行われた説明会の様子

### 現地調査の期間

令和4年8月から令和5年8月まで  
皆さまのご協力をお願いします。



広域ごみ処理事業 QR